

日本原燃株式会社 濃縮・埋設事業所
加工施設
使用前検査成績書
(その2-1)

[その他の加工施設]

原子力規制委員会

使用前検査成績書

申請者及び事業所名	日本原燃株式会社 濃縮・埋設事業所		
検査範囲	その他の加工施設 非常用設備 非常用電源設備 ディーゼル発電機 A、B その他の構成機器 ディーゼル発電機制御盤 A、B 燃料サービスタンク A、B 屋外軽油タンク 屋外軽油タンク 2 燃料移送ポンプ A、B 燃料供給配管		
検査場所	日本原燃株式会社 濃縮・埋設事業所 加工施設 青森県上北郡六ヶ所村大字尾駈字野附 504 番地 22		
申請年月日及び 申請番号	平成 31 年 4 月 24 日 2019 濃計発第 116 号		
検査項目	検査年月日	結果	摘要
別紙-2 のとおり	別紙-1 のとおり	別紙-2 の とおり	別紙-2 のとおり
原子力検査官	別紙-1 のとおり		
検査立会責任者 (役 職 名)	別紙-1 のとおり		
備 考	設工認申請書に記載されている核燃料物質の加工の事業に関する規則第 3 条の 6 第 4 号に基づく加工施設の性能検査をもって終了とする。 令和 5 年 7 月 18 日 削除 関		

検査年月日	原子力検査官	検査立会責任者 (役職名)	特記事項
令和2年11月10日 11	佐山 洋 環境技官 千葉 正之	電気計装保全課長 [Redacted] 機械保全課長 [Redacted]	なし
令和3年5月19日	関 典之 環境技官 清水 俊博	電気計装保全課 [Redacted]	なし
年 月 日			
年 月 日			

2

検査年月日	原子力検査官	検査立会責任者 (役職名)	特記事項
令和5年4月20日	館内政昭 関 興之	機械保全課長 	なし
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			

8

検査項目	検査年月日	結果	摘要
耐震検査	令和2年11月10日	良	別紙-3、4 のとおり
配置及び員数検査	令和2年11月10日	良	別紙-5、6 のとおり
外観検査	令和2年11月10日	良	別紙-7、8 のとおり
性能検査	令和2年11月10日	良	別紙-9、10 のとおり
設計変更による工事を伴わないもの又は設計変更及び工事を伴わないものに対する適合性確認結果の検査	令和2年11月11日	良	別紙-11、12 のとおり

検 査 項 目	検 査 年 月 日	結 果	摘 要
耐 震 検 査	令和3年 5月 19日	良	別紙-3、4 のとおり
配 置 及 び 員 数 検 査	令和3年 5月 19日	良	別紙-5、6 のとおり
外 観 検 査	令和3年 5月 19日	良	別紙-7、8 のとおり
性 能 検 査	令和3年 5月 19日	良	別紙-9、10 のとおり
設計変更による工事を伴わないもの又は設計変更及び工事を伴わないものに対する適合性確認結果の検査	年 月 日		別紙-11、12 のとおり

検査項目	検査年月日	結果	摘要
耐震検査	年 月 日		別紙-3、4 のとおり
配置及び員数検査	年 月 日		別紙-5、6 のとおり
外観検査	年 月 日		別紙-7、8 のとおり
性能検査	年 月 日		別紙-9、10 のとおり
設計変更による工事を伴わないもの又は設計変更及び工事を伴わないものに対する適合性確認結果の検査	令和5年4月20日	良*	別紙-11、12 のとおり

* 燃料供給配管の技術基準への適合について、再検査を実施

検査前確認事項

検査年月日：令和3年5月19日

検査場所：日本原燃株式会社 濃縮・埋設事業所 加工施設

検査項目：耐震検査

検査範囲	その他の加工施設 非常用設備 非常用電源設備 ディーゼル発電機 その他の構成機器 ディーゼル発電機制御盤		
確認事項	結果	確認方法	
申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	良	記録	
必要な図面等が準備されていることを確認する。	良	記録	
使用する検査用計器が必要な測定範囲及び精度を有し、校正が適切に行われ、有効期限内であることを校正記録により確認する。	良	記録	
備考： 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-14に示す。			

検査前確認事項

検査年月日：令和2年11月10日

検査場所：日本原燃株式会社 濃縮・埋設事業所 加工施設

検査項目：耐震検査

<p>検査範囲</p>	<p>その他の加工施設 非常用設備 非常用電源設備 ディーゼル発電機 その他の構成機器 ディーゼル発電機制御盤</p>		
<p>確認事項</p>	<p>結果</p>	<p>確認方法</p>	
<p>申請者の品質記録が準備されていることを確認する。</p>	<p>良</p>	<p>記録</p>	
<p>必要な図面等が準備されていることを確認する。</p>	<p>良</p>	<p>記録</p>	
<p>使用する検査用計器が必要な測定範囲及び精度を有し、校正が適切に行われ、有効期限内であることを校正記録により確認する。</p>	<p>良</p>	<p>記録</p>	
<p>備考： 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-14に示す。</p>			

耐震検査記録

検査年月日：令和3年5月19日

検査場所：日本原燃株式会社 濃縮・埋設事業所 加工施設

検査範囲及び対象機器	その他の加工施設 非常用設備 非常用電源設備 ディーゼル発電機 その他の構成機器 ディーゼル発電機制御盤A		
判定基準	結果	検査方法	
制御盤の基礎ボルト及び据付ボルトの材料が、炭素鋼 (SS400) であること。	良	記録	
制御盤の基礎ボルトの本数が12本、呼び径がM12及びボルト間隔が1600mm以上であること。	良	記録	
制御盤の据付ボルトの本数が12本、呼び径がM12及びボルト間隔が1800mm以上であること。	良	立会*/記録	
<p>備考：</p> <p>立会検査で使用した検査用計器を別紙-13に示す。</p> <p>本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-14に示す。</p> <p>* 立会検査は、制御盤の据付ボルトの本数及びボルト間隔について、添付資料-2(8/11)四-6 ディーゼル発電機制御盤 据付ボルト及び基礎ボルト配置図中 据付ボルトの本数及びX-Wボルト間隔について実施。</p> <p>・ X-Wボルト間隔計測値：1820mm</p> <p>・ 使用計測器：インバ?スル-ル 管理番号：51503-00-226-HM</p>			

耐震検査記録

検査年月日: 令和2年11月10日

検査場所: 日本原燃株式会社 濃縮・埋設事業所 加工施設

<p>検査範囲及び対象機器</p>	<p>その他の加工施設 非常用設備 非常用電源設備 ディーゼル発電機 その他の構成機器 ディーゼル発電機制御盤B</p>	
<p>判定基準</p>	<p>結果</p>	<p>検査方法</p>
<p>制御盤の基礎ボルト及び据付ボルトの材料が、炭素鋼 (SS400) であること。</p>	<p>良</p>	<p>記録</p>
<p>制御盤の基礎ボルトの本数が12本、呼び径がM12及びボルト間隔が1600mm以上であること。</p>	<p>良</p>	<p>記録</p>
<p>制御盤の据付ボルトの本数が12本、呼び径がM12及びボルト間隔が1800mm以上であること。</p>	<p>良</p>	<p>立会[*]記録</p>
<p>備考:</p> <p>立会検査で使用した検査用計器を別紙-13に示す。</p> <p>本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-14に示す。</p> <p>※: 立会検査は、制御盤の据付ボルトの本数及び呼び径について 添付資料-2(8/11) 図-6 ディーゼル発電機制御盤 据付ボルト及び基礎ボルト配置図中、N、P、Q、R、S、T、U、Xを実施。</p>		

検査前確認事項

検査年月日：令和3年 5月 19日

検査場所：日本原燃株式会社 濃縮・埋設事業所 加工施設

検査項目：配置及び員数検査

検査範囲	その他の加工施設 非常用設備 非常用電源設備 ディーゼル発電機 その他の構成機器 ディーゼル発電機制御盤		
確認事項	結果	確認方法	
申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	良	記録	
必要な図面等が準備されていることを確認する。	良	記録	
備考：			

検査前確認事項

検査年月日：令和2年 11 月 10 日

検査場所：日本原燃株式会社 濃縮・埋設事業所 加工施設

検査項目：配置及び員数検査

検査範囲	その他の加工施設 非常用設備 非常用電源設備 ディーゼル発電機 その他の構成機器 ディーゼル発電機制御盤		
確認事項	結果	確認方法	
申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	良	記録	
必要な図面等が準備されていることを確認する。	良	記録	
備考：			

配置及び員数検査記録

検査年月日：令和3年5月19日

検査場所：日本原燃株式会社 濃縮・埋設事業所 加工施設

検査範囲及び対象機器	その他の加工施設 非常用設備 非常用電源設備 ディーゼル発電機 その他の構成機器 ディーゼル発電機制御盤A		
判定基準	結果	検査方法	
制御盤の配置及び員数が設工認申請書のとおりであること。	良	立会	
制御盤の検査、保守等に必要なスペースが確保されていること。	良	立会	
備考： 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-14に示す。			

配置及び員数検査記録

検査年月日：令和2年11月10日

検査場所：日本原燃株式会社 濃縮・埋設事業所 加工施設

検査範囲及び対象機器	その他の加工施設 非常用設備 非常用電源設備 ディーゼル発電機 その他の構成機器 ディーゼル発電機制御盤B		
判定基準	結果	検査方法	
制御盤の配置及び員数が設工認申請書のとおりであること。	良	立会	
制御盤の検査、保守等に必要なスペースが確保されていること。	良	立会	
備考： 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-14に示す。			

検査前確認事項

検査年月日：令和3年 5月 19日

検査場所：日本原燃株式会社 濃縮・埋設事業所 加工施設

検査項目：外観検査

検査範囲	その他の加工施設 非常用設備 非常用電源設備 ディーゼル発電機 その他の構成機器 ディーゼル発電機制御盤		
確認事項	結果	確認方法	
申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	良	記録	
必要な図面等が準備されていることを確認する。	良	記録	
備考：			

検査前確認事項検査年月日： 令和2 年 11 月 10 日検査場所： 日本原燃株式会社 濃縮・埋設事業所 加工施設検査項目： 外観検査

検査範囲	その他の加工施設 非常用設備 非常用電源設備 ディーゼル発電機 その他の構成機器 ディーゼル発電機制御盤		
確認事項	結果	確認方法	
申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	良	記録	
必要な図面等が準備されていることを確認する。	良	記録	
備考：			

外 観 検 査 記 録

検査年月日： 令和3年 5月 19日

検査場所：日本原燃株式会社 濃縮・埋設事業所 加工施設

検査範囲及び対象機器	その他の加工施設 非常用設備 非常用電源設備 ディーゼル発電機 その他の構成機器 ディーゼル発電機制御盤A		
判定基準	結果	検査方法	
制御盤の主要な構造材が鋼材であること。	良	記録	
制御盤の外観に使用上有害な傷、変形のないこと。	良	立会	
備 考： 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-14に示す。			

外 観 検 査 記 録

検査年月日： 令和2年 11 月 10 日

検査場所：日本原燃株式会社 濃縮・埋設事業所 加工施設

検査範囲及び対象機器	その他の加工施設 非常用設備 非常用電源設備 ディーゼル発電機 その他の構成機器 ディーゼル発電機制御盤B		
判 定 基 準	結 果	検査方法	
制御盤の主要な構造材が鋼材であること。	良	記録	
制御盤の外観に使用上有害な傷、変形のないこと。	良	立会	
備 考： 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-14に示す。			

検査前確認事項

検査年月日： 令和3年 5月 19日

検査場所：日本原燃株式会社 濃縮・埋設事業所 加工施設

検査項目：性能検査

検査範囲	その他の加工施設 非常用設備 非常用電源設備 ディーゼル発電機		
確認事項	結果	確認方法	
申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	良	記録	
必要な図面等が準備されていることを確認する。	良	記録	
使用する検査用計器が必要な測定範囲及び精度を有し、校正が適切に行われ、有効期限内であることを校正記録により確認する。	良	記録	
<p>備考：</p> <p>本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-14に示す。</p>			

検査前確認事項

検査年月日： 令和2 年 11 月 10 日

検査場所：日本原燃株式会社 濃縮・埋設事業所 加工施設

検査項目：性能検査

検査範囲	その他の加工施設 非常用設備 非常用電源設備 ディーゼル発電機		
確認事項	結果	確認方法	
申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	良	記録	
必要な図面等が準備されていることを確認する。	良	記録	
使用する検査用計器が必要な測定範囲及び精度を有し、校正が適切に行われ、有効期限内であることを校正記録により確認する。	良	記録	
備考： 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-14に示す。			

性能検査記録

検査年月日：令和3年5月19日

検査場所：日本原燃株式会社 濃縮・埋設事業所 加工施設

検査範囲及び対象機器	その他の加工施設 非常用設備 非常用電源設備 ディーゼル発電機A その他の構成機器 ディーゼル発電機制御盤A		
判定基準	結果	検査方法	
ディーゼル発電機が 1900kW 以上の負荷で1時間以上運転できること。	良	記録	
非常用高圧母線が停電し、警報が発生してから20秒以内にディーゼル発電機を受電遮断器が投入されること。	良	立会	
<p>備考：</p> <p>立会検査で使用した検査用計器を別紙-13に示す。</p> <p>本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-14に示す。</p> <p>遮断器投入までの時間： <u>14.8</u> 秒</p> <p>発電機電圧（参考値）： <u>6900</u> V（ディーゼル発電機自動起動盤A）</p> <p>・使用計測器：ストップウォッチ 管理番号：51503-04-017-HI</p>			

性能検査記録

検査年月日：令和2年11月10日

検査場所：日本原燃株式会社 濃縮・埋設事業所 加工施設

検査範囲及び対象機器	その他の加工施設 非常用設備 非常用電源設備 ディーゼル発電機B その他の構成機器 ディーゼル発電機制御盤B	
判定基準	結果	検査方法
ディーゼル発電機が 1900kW 以上の負荷で1時間以上運転できること。	良	記録
非常用高圧母線が停電し、警報が発生してから20秒以内にディーゼル発電機を受電遮断器が投入されること。	良	立会
<p>備考：</p> <p>立会検査で使用した検査用計器を別紙-13に示す。</p> <p>本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-14に示す。</p> <p>遮断器投入までの時間： <u>14.90</u> 秒</p> <p>発電機電圧（参考値）： <u>6,900</u> V（ディーゼル発電機自動起動盤B）</p>		

検査前確認事項検査年月日： 令和2 年 11 月 11 日

検査場所：日本原燃株式会社 濃縮・埋設事業所 加工施設

検査項目：設計変更による工事を伴わないもの又は設計変更及び工事を伴わないものに対する適合性確認結果の検査

検査範囲	その他の加工施設 非常用設備 非常用電源設備 ディーゼル発電機		
確認事項	結果	確認方法	
申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	良	記録	
必要な図面等が準備されていることを確認する。	良	記録	
備考：			

検査前確認事項

検査年月日：令和5年4月20日

検査場所：日本原燃株式会社 濃縮・埋設事業所 加工施設

検査項目：設計変更による工事を伴わないもの又は設計変更及び工事を伴わないものに対する適合性確認結果の検査

検査範囲	その他の加工施設 非常用設備 非常用電源設備 ディーゼル発電機		
確認事項	結果	確認方法	
申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	良*	記録	
必要な図面等が準備されていることを確認する。	良*	記録	
備考： * 燃料供給配管の技術基準への適合について、再検査を実施。			

設計変更による工事を伴わないもの又は設計変更及び工事を伴わないものに対する適合性確認結果の検査記録

検査年月日： 令和2年 11月 11日

検査場所：日本原燃株式会社 濃縮・埋設事業所 加工施設

<p>検査範囲及び対象機器</p>	<p>その他の加工施設 非常用設備 非常用電源設備 ディーゼル発電機A、B</p>		
<p>判定基準</p>	<p>結果</p>	<p>検査方法</p>	
<p>設工認申請書に従って行われ、下記の性能の技術基準に適合していること。 <ul style="list-style-type: none"> ・火災等による損傷の防止（第4条第3項） ・地震による損傷の防止（第6条第1項） ・外部からの衝撃による損傷の防止（第8条第1項） ・安全機能を有する施設（第16条第2項） </p>	<p>良</p>	<p>記録</p>	
<p>備考： 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-14に示す。</p>			

設計変更による工事を伴わないもの又は設計変更及び工事を伴わないものに対する適合性確認結果の検査記録

検査年月日： 令和2 年 11 月 11 日

検査場所：日本原燃株式会社 濃縮・埋設事業所 加工施設

<p>検査範囲及び対象機器</p>	<p>その他の加工施設 非常用設備 非常用電源設備 ディーゼル発電機 その他の構成機器 燃料サービスタンク A、B</p>		
<p>判定基準</p>	<p>結果</p>	<p>検査方法</p>	
<p>設工認申請書に従って行われ、下記の性能の技術基準に適合していること。 ・火災等による損傷の防止（第4条第3項） ・地震による損傷の防止（第6条第1項） ・安全機能を有する施設（第16条第2項）</p>	<p>良</p>	<p>記録</p>	
<p>備考： 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-14に示す。</p>			

設計変更による工事を伴わないもの又は設計変更及び工事を伴わないものに対する適合性確認結果の検査記録

検査年月日：令和2年 11 月 11 日

検査場所：日本原燃株式会社 濃縮・埋設事業所 加工施設

<p>検査範囲及び対象機器</p>	<p>その他の加工施設 非常用設備 非常用電源設備 ディーゼル発電機 その他の構成機器 屋外軽油タンク 屋外軽油タンク2</p>	
<p>判定基準</p>	<p>結果</p>	<p>検査方法</p>
<p>設工認申請書に従って行われ、下記の性能の技術基準に適合していること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火災等による損傷の防止（第4条第1項及び第3項） ・安全機能を有する施設の地盤（第5条） ・地震による損傷の防止（第6条第1項） ・外部からの衝撃による損傷の防止（第8条第1項） ・安全機能を有する施設（第16条第2項） 	<p>良</p>	<p>記録</p>
<p>備考：</p> <p>本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-14に示す。</p>		

設計変更による工事を伴わないもの又は設計変更及び工事を伴わないものに対する適合性確認結果の検査記録

検査年月日：令和2年11月11日

検査場所：日本原燃株式会社 濃縮・埋設事業所 加工施設

<p>検査範囲及び対象機器</p>	<p>その他の加工施設 非常用設備 非常用電源設備 ディーゼル発電機 その他の構成機器 燃料移送ポンプA、B</p>		
<p>判定基準</p>	<p>結果</p>	<p>検査方法</p>	
<p>設工認申請書に従って行われ、下記の性能の技術基準に適合していること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火災等による損傷の防止（第4条第3項） ・安全機能を有する施設の地盤（第5条） ・地震による損傷の防止（第6条第1項） ・安全機能を有する施設（第16条第2項） 	<p>良</p>	<p>記録</p>	
<p>備考： 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-14に示す。</p>			

設計変更による工事を伴わないもの又は設計変更及び工事を伴わないものに対する適合性確認結果の検査記録

検査年月日： 令和2年 11月 11日

検査場所：日本原燃株式会社 濃縮・埋設事業所 加工施設

<p>検査範囲及び対象機器</p>	<p>その他の加工施設 非常用設備 非常用電源設備 ディーゼル発電機 その他の構成機器 燃料供給配管</p>		
<p>判定基準</p>	<p>結果</p>	<p>検査方法</p>	
<p>設工認申請書に従って行われ、下記の性能の技術基準に適合していること。 ・火災等による損傷の防止（第4条第3項） ・地震による損傷の防止（第6条第1項） ・安全機能を有する施設（第16条第2項）</p>	<p>良</p>	<p>記録</p>	
<p>備考： 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-14に示す。</p>			

設計変更による工事を伴わないもの又は設計変更及び工事を伴わないものに対する適合性確認結果の検査記録

検査年月日: 令和5年 4月 20日

検査場所: 日本原燃株式会社 濃縮・埋設事業所 加工施設

<p>検査範囲及び対象機器</p>	<p>その他の加工施設 非常用設備 非常用電源設備 ディーゼル発電機 その他の構成機器 燃料供給配管</p>		
<p>判定基準</p>	<p>結果</p>	<p>検査方法</p>	
<p>設工認申請書に従って行われ、下記の性能の技術基準に適合していること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火災等による損傷の防止 (第4条第3項) ・地震による損傷の防止 (第6条第1項) ・安全機能を有する施設 (第16条第2項) 	<p>良*</p>	<p>記録</p>	
<p>備考:</p> <p>本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-14に示す。</p> <p>* 燃料供給配管からの油漏し事象への不適合処置として実施した配管交換及びバルブ交換工事に伴い、再接査を実施。再接査の範囲は、添付による。</p>			

使用計測器一覧表

検査年月日：令和2年11月10日

検査場所：日本原燃株式会社 濃縮・埋設事業所 加工施設

1) 本設計器

検査項目	機器名称	計器番号	測定範囲	精度	校正年月日	備考
					校正有効期限	

2) 本設計器以外の計器

検査項目	機器名称	計器番号	測定範囲	精度	校正年月日	備考
					校正有効期限	
性能検査	ストロークワッチ	51502-13-001	0~99.99h	±0.0012%	2020.7.7 2021.8.6	
以下空白						

使用計測器一覧表

検査年月日： 令和3年 5月 19日

検査場所：日本原燃株式会社 濃縮・埋設事業所 加工施設

1) 本設計器

検査項目	機器名称	計器番号	測定範囲	精度	校正年月日	備考
					校正有効期限	
/						

2) 本設計器以外の計器

検査項目	機器名称	計器番号	測定範囲	精度	校正年月日	備考
					校正有効期限	
耐震検査	コンベックスレベル	51503-00-226-HM	0 ~ 3.5 m	$\pm(0.2+0.1L)$ mm [*]	2020.5.22 2021.6.21	* Lは測定長さ メートルで表す(2桁)
性能検査	ストップウォッチ	51503-04-017-HI	0 ~ 99.99h	$\pm 0.0012\%$	2020.10.2 2021.11.1	
(以下余白)						

記 録 一 覧 表

検査年月日： 令和2年11月10、11日

検査場所：日本原燃株式会社 濃縮・埋設事業所 加工施設

No.	確認した書類の名称	文書番号、制定年月日等	備考
1	加工施設使用前検査（社内）要領書	H51604-20-005-00 2020年9月10日	
2	加工施設使用前検査（社内）要領書 （改正1）	H51604-20-005-01 2020年10月19日	
3	加工施設使用前検査（社内）要領書 （改正2）	H51604-20-005-02 2020年10月30日	
4	加工施設使用前検査（社内）成績書	H51604-20-使成-001 2020年11月4日	
5	加工施設使用前検査（社内）成績書	H51603-20 使成-003 2020年10月30日	
6	使用前検査資料（非常用設備 ディーゼル発電機 その他の構成機器）適合性確認記録	H51603-20 使資-006 2020年10月19日	
7	巻尺 校正証明書	A-CG04 2020年9月10日	
8	ストップウォッチ1 校正証明書	51502-013-001 2020年9月7日	
9	ストップウォッチ2 校正証明書	51502-013-002 2020年9月7日	
10	使用前検査（社内）検査体制表	2020年10月19日	
11	社内検査（使用前検査 検査指揮者） 力量評価表	2020年9月8日 2020年10月15日	
12	社内検査（使用前検査 検査担当者） 力量評価表	2020年9月8日 2020年10月15日	
13	社内検査（使用前検査 検査員）力量 評価表	2020年9月8日	
14	JIS ハンドブック鉄鋼 1988 JIS G 4051(1979)機械構造用炭素鋼鋼材	—	
	(以下余白)		

記 録 一 覧 表

検査年月日： 令和3年 5月 19日

検査場所：日本原燃株式会社 濃縮・埋設事業所 加工施設

No.	確認した書類の名称	文書番号、制定年月日等	備 考
1	加工施設使用前検査（社内）要領書 （改正3）	H51604-20-005-03 2020年12月24日	
2	使用前検査（社内）結果報告書	K51604-21-A-0327 2021年5月17日	
3	試験検査装置管理マニュアル	G51605-006-04 2020年9月17日	
4	社内検査者（使用前検査 検査指揮者）力量評価表	K51604-20-B-0570 2020年9月8日	
5	社内検査者（使用前検査 検査担当者）力量評価表	K51604-20-B-0569 2020年9月8日	
6	社内検査者（使用前検査 検査員）力量評価表	K51604-20-B-0568 2020年9月8日	
7	社内検査者（使用前検査 検査員）力量評価表	K51604-20-B-0572 2020年9月8日	
8	使用前検査（社内）検査体制表 （耐震検査）	2021年3月3日	
9	使用前検査（社内）検査体制表 （外観検査、配置及び員数検査、性能検査（負荷検査））	2021年4月22日	
10	使用前検査（社内）検査体制表 （性能検査（停電検査））	2021年5月11日	
11	校正証明書 ストップウォッチ （51503-04-016-HI）	K51604-20-C-0355 2020年11月6日	
12	校正証明書 ストップウォッチ （51503-04-017-HI）	K51604-20-C-0356 2020年11月6日	

検査対象は表のとおり

検査目的	検査対象モデル	検査対象箇所	技術基準への適合確認					
			火災 (4条1項)	火災 (4条3項)	地震 (5条)	地震 (6条1項)	外部衝撃 (8条1項)	安全機能 (16条2項)
配管およびUボルト交換に伴う再検査	DG-N008(1/3)	L11	-	○	-	○	-	○
	DG-N008(2/3)	L1~L8	-	○	-	○	-	○
	DG-N010	L1~L6, L9~L12	-	○	-	○	-	○
	DG-N013(9/15)	L3~L11	-	○	-	○	-	○
Uボルト交換に伴う再検査	DG-N005(1/2)	L7,L8	-	-	-	○	-	-
	DG-N006(1/2)	L13,L14	-	-	-	○	-	-
	DG-N007(2/3)	L2~L5	-	-	-	○	-	-
	DG-N013(2/15)	L3~L6	-	-	-	○	-	-

○：検査実施 -：検査対象外

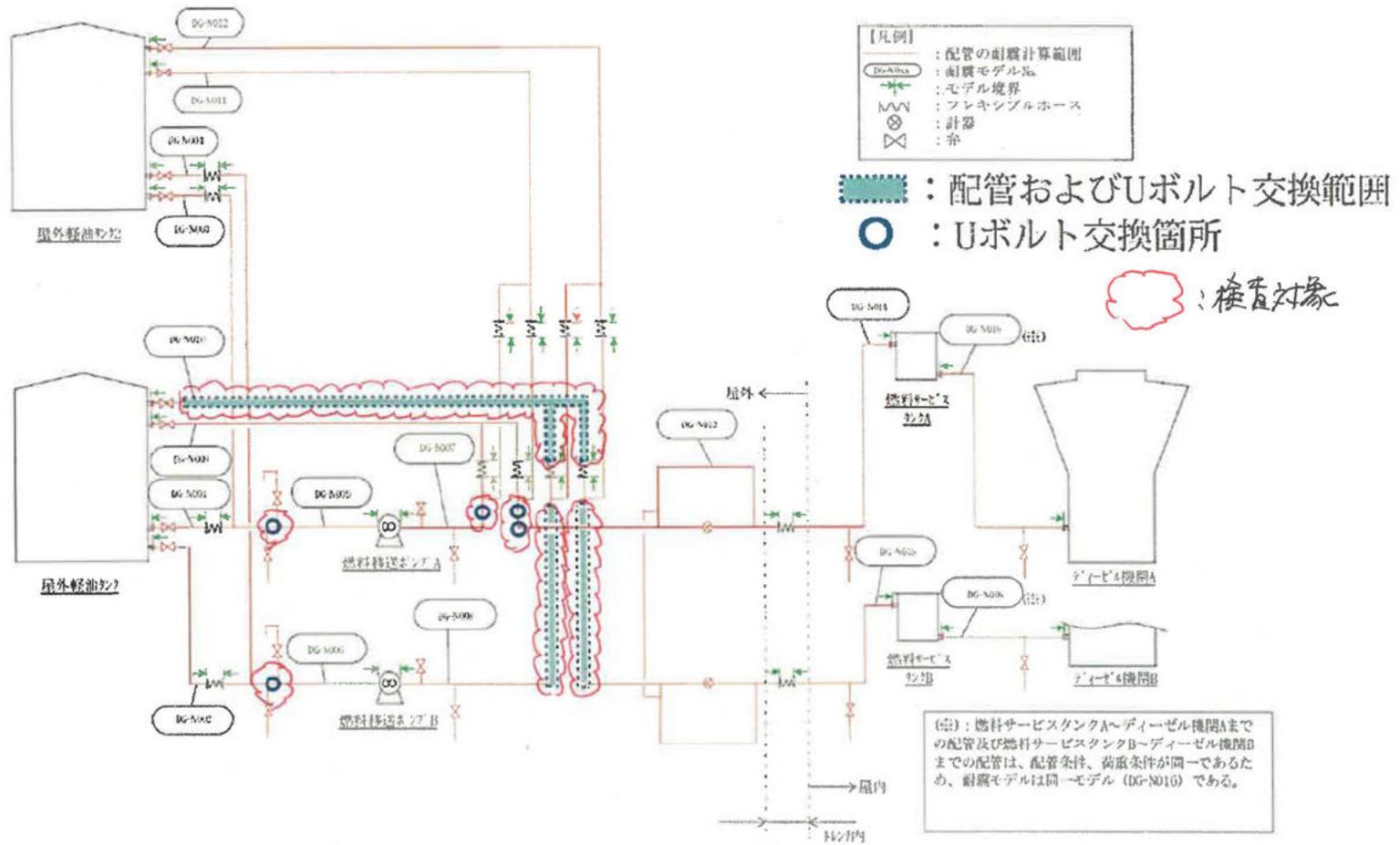


図-1 非常用設備 燃料供給配管 モデル位置

(1) 添付計算書2-2-67